

133とは、みことばを 1にち 3かい 3かいずつ よめば
いっしゅうかんに おぼえることが できるという いみです。

あまくて ふしぎな かみさまの みことばを まいにち よみましょう。
よく みえる ところに はっておいて いっしゅうかん
くりかえし よんで みことばを おぼえましょう

メディアぞくの

アハシュエロスの こ

ダリヨスが、カルデヤじんの

くにの おうと なった

その がんねん、

ダニエル9しょう1せつの みことば



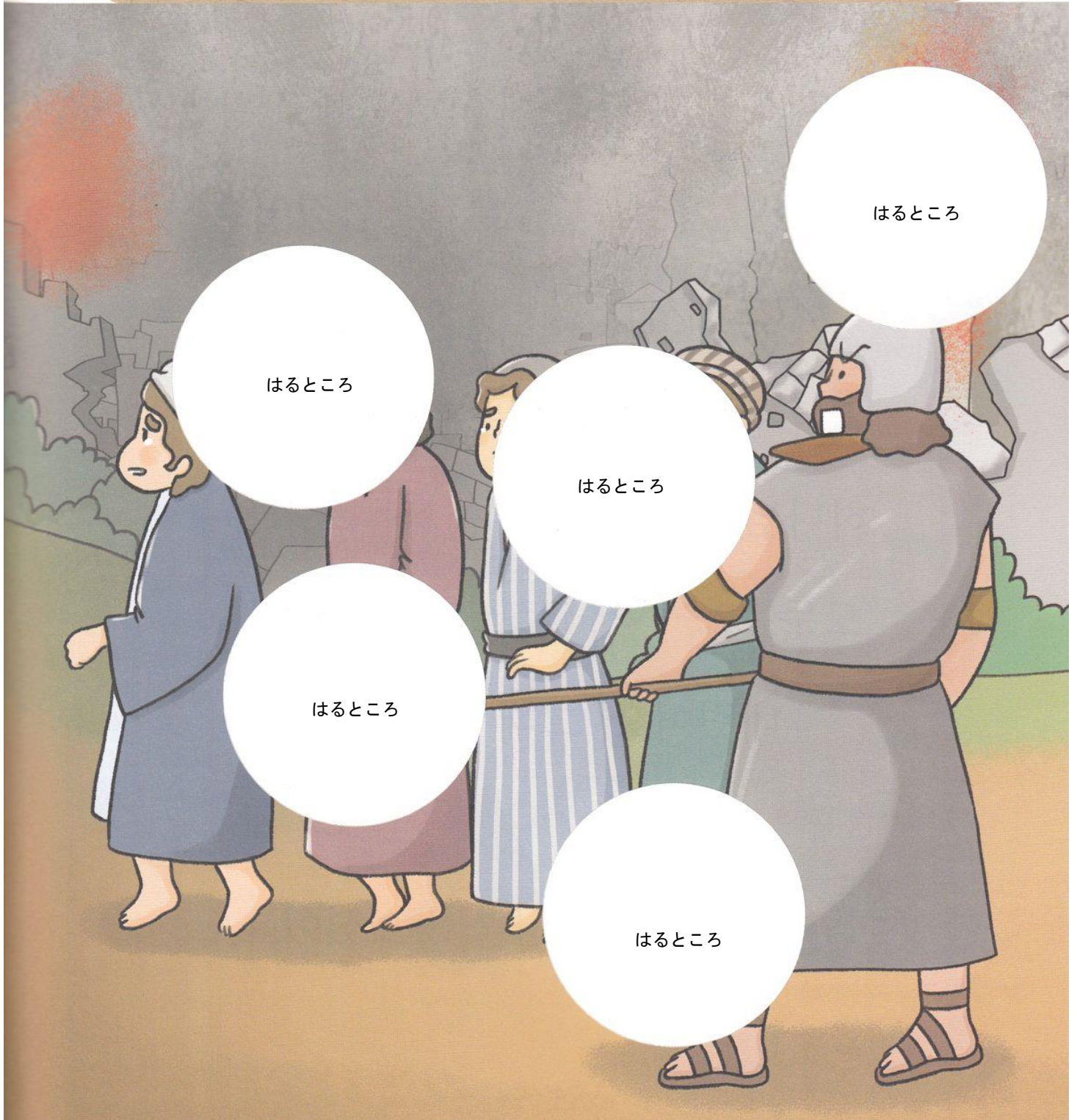
きって はりましょう

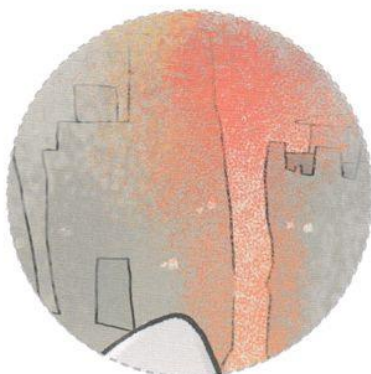


かようび

かみさまを すてて ぐうぞうに つかえていた イスラエルは
ぐうぞう こっかの ほりよに なりました。 わたしは
ただ かみさまだけに つかえるという ところを こくはくしながら
したの あいている ところに つぎのページの えを きりとって
はって えを かんせいさせましょう。

じゅんぴする もの： はさみ のり つぎのページ





きょうも パパとママと いっしょに れいはいしましょう。
きょうの みことばで じゅうような たんごを もういちど
かんがえてみましょう。
したの ないようを よんで じゅうような たんごを
なぞって かきましよう。

このように ちからが つよかった
アハシュエロスおう ですが、かみさまでは ない
ぐらぞう に つかえていました。

そして、ハマン という
わるい しんかの ことばに だまされて、
かみさまの たみである ユダヤじん を
すべて ころせ と めいれいを くだしました。

そのとき、かみさまは
レムナント の エステル を
そなえ 、わざわいを とめられました。



かくれている えを みつけたり きれいに いろを
ぬったり しましょう



もくようび

どんなに ちからが つよい ひとでも かみさまが くださる
けいやくを わすれて ぐうぞうに つかえると ぜったいに
しあわせでは ありません。 したの えのなかで かみさまを はなれた
ひとたちに あらわれる もんだいを みつけて まるで しるしを
つけましょう。



ぐうぞうすうはい

ゴール



いのりのこたえ



らいせの もんだい



つぎのせだいに
そうぞく



かみのこども



てんごくの
はいけい



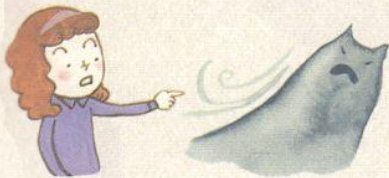
こころ、せいしんの
もんだい



にくたいの
もんだい



てんのぐんぜい
みつかいの たすけ



サタンを しばる



あくまのこども



せかいふくいんか

スタート

ひょうげんしょう

☆ ひそひそ ☆

パパとママと いっしょに おはなしして
かみさまが よろこばれる かんがえ ことば こうどうを
えで ひょうげんしましょう。

06

きんようび

ぐうぞうに つかえる ことは かみさまから はなれる とても
おおきな もんだいです。 わたしには ぐうぞうは あるでしょうか。
パパとママと はなしを して えか じで ひょうげんしましょう。



たのしい ワークをして いっしゅうかんの みことばを
ここに きざみましょう

07

どようび

まわりを みまわして みましよう。きのはっぱや はなが いろいろな
いろに なっていますね。わたしたちも ひとりひとり いろいろな
いろの ぐうぞうが あります。したの ワークを いっしょに しながら
わたしたちに ある ぐうぞうを みことばの ハンマー (きづち) で
たたいて けしましょう。

じゅんぴするもの | しろい いろの かみ または もめんのぬの、ハンマー (きづち、または ゴムハンマー)
きのはっぱ はな

ぐうぞうを すてるとき もういちど はなひらく しゆくふく



1. きのはっぱや いろいろな いろの はなを あつめます
2. しろい かみの うえに うえの しゃしんのように いろごとに わけます
3. かみに ならべます
4. さんびしながら ハンマーで 「とんとん」と たたきます
5. かみに みずが でたら はっぱと はなを かたづけます
6. かみの うえに ぐうぞうを すてるとき もういちど はなひらくことを みます
7. がくぶちに いれて かざりましょう。
かみさまに かんしゃの いのりを しましょう。